

～ 今月の図書案内 ～

ようやく秋らしくなってきましたね。読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋…秋は、新しいことに挑戦したり、集中して何かをするには、いい季節です。図書館を利用して、秋を満喫してみませんか？

★今月の新着おすすめ本

「パッケージデザインのひみつ」

日本パッケージデザイン協会 監修

何気なく使っている製品のパッケージの創意工夫を紹介。ヨーグルトがつかないフタ、液体がもれない飲料パックなど技術に関するものや、虫の絵が苦手な人に向けた表面が剥がせる殺虫剤の缶など表現に関するものまで、多くの商品を説明しています。身近な物に意外な企業努力が詰まっていることに驚かされます。

「オタク六法」 小林 航太

弁護士でコスプレイヤーの著者が、オタク活動をするうえで役に立つ法律を解説。ゲーム実況は著作権ではアウトか？ チケット転売は、なぜ規制されるのか？ ネット上での悪口や嫌がらせなどの誹謗中傷は、どのような場合に罪になるのか？ このような疑問に答えてくれます。オタク趣味がない人でも法律を知る第一歩になります。

「パブリックアート入門」 浦島 茂世

全国各地にある、日常風景のなかに埋めておくにはもったいない街角アート＝パブリックアートを取り上げ、その歴史と魅力を紹介するガイド。ふだん何気なく目にしている駅前のブロンズ像や広場におかれた立体オブジェ…それらの作品が誰によって作られ、なぜそこにあるのかがわかり、街歩きがもっと楽しくなるかもしれません。

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

開館時間 8:35～16:45（色つきの日は閉館日 予定は変更することもあります）

★図書館からのおすすめ本

「ゲーセン戦記」 池田 稔

高田馬場などにある「ゲーセンミカド」の経営者兼店長の著者が、ゲームの歴史や未来について語っています。ゲームが生活の中心だった青春時代や経営者になってからの苦労、店での意外な稼ぎ頭の作品や不具合で攻略が難しく、話題になったゲームまで、大変でありながらも楽しそうな日々が綴られています。読むとゲームセンターに行きたくなる魅力にあふれています。

「水を縫う」 寺地 はるな

「男なのに」手芸が好きな高校生の清澄。結婚を控えた姉は「女なのに」可愛いものとか苦手。そんな姉のために、清澄はウェディングドレスを手作りすると宣言するが…。「男なのに」「女らしく」「母／父だから」という言葉に、各々自他ともに縛られ不器用に生きていたが、ドレス作りをきっかけに、少しずつ変わっていく…愛にあふれた家族の物語。

「6Bの鉛筆で書く」 五味 太郎

「小さな文章を書いてみる楽しみというやつは、もしかしたら散歩に似ているのかもしれない。町内ではなく脳内をぶらぶらすることなんだ、僕にとって文章を書くという作業は、どうやら」とつぶやいた五味太郎のESSAY&PHOTO。いつも彼の傍らにある6Bの鉛筆で書き下ろした35篇の長短エッセイと世界を旅して撮りつづけた写真50点を収録した一冊。